



森の守護神

森ボラ 通信

第44号 2006年1月20日発行

N P O 法人 北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

あけましておめでとうございます

■トピックス

◆初詣と冬芽観察会 06/01/01

凜とした空気にどこかしら柔らかさが感じられる陽光、2006年は美しい朝で始まりました。今年の森ボラは元旦から始動です。初詣も兼ねた冬芽観察会に14名もの会員が参加しました。作業時は各々裏山道側から境内に入りますが、この日ばかりは全員揃って表参道より本殿に入り、全会員の健康と会の発展を祈願しました。

冬芽観察会は木々たちの四季を通じての変化をミクロの目で追ってみようと始まった企画です。この日は境内から円山中腹辺りをかんじきや長靴で歩きました。お目当ての冬芽はまだ堅く小さく、良さそうなものでも高所だったり、思いの外探すのに難儀しましたが、まずはミズキ・シナノキ・キタコブシなど観察できました。雪上に彼方此方残る動物の足跡やクマゲラの穴、葉の落ちた時期により強調されるカツラの幹の荒々しいねじれなど、木の芽のみならず冬のフィールドならではの景色が満載でした。

木に多く接する我々ですが、木を細部まで捉える機会はなかなかありません。それぞれの木の個性について知らないことの方が多いのではないでしょうか。とにかくじっと見てみましょう。見ているうちに個性豊かなデザインの意味が見えてくるかもしれません。これから月一度のペースで観察を行い、できれば北海道の在来樹種を網羅したデータベースを作れたらと考えています。視点は皆違うので、参加者が多いほど発見も多いはず。回を重ねる毎にどう育って行くのか、冬芽の変化と共に楽しみな企画であります(柴田記)。



この笑顔でスタート



ミズキの冬芽

◆1月セミナー

1月17日(火) 13:30～ 於: リンケージプラザ

この日のセミナーは、「海外での植樹体験」ということでまず松村清松さんに日中戦争の中国大陆での体験談を1時間半に亘って話して頂きました。

先の日中戦争の際に機動歩兵第3連隊の吉松喜三連隊長が日本から苗木を送ってもらいこれらを中国大陸に植えた（昭和15年から復員する21年までに400万本植樹）ことにより「緑の連隊長」と呼ばれていたこと。そして、吉村連隊長が松村さんの上司の旅団長となり終戦を迎えたが、植樹活動の行為が中国人民の共感を得て、敗戦後の中国人民の対応が良かったことなどを話されました。ただ、戦車隊が400万本の苗木を植えて歩くことは無理であり、地元住民に植え方を指導しながら苗木を渡して植えてもらったことで、今日海外緑化を進める際の参考のものと思います。

松村さんの話の後、荻田が中国大同での植樹体験*を、加治さんが仕事などでボルネオ等での体験などを話し、最後に酒井さんがホンジュラス植林で6月に現地に行くことなどを話され終了しました。

松村さんは、86歳という高齢にも関わらず資料を準備され、また1時間半の間立って話をされました。この気骨と健康を我々も見習って行きたいものです。緑化活動は、息の長い活動を継続して行うことが大事です、その為にも90歳までも活動していくことができるように!!

セミナーの後、オオロラタウンのサッポロビールライオンで新年会を行いました。ここでは酒井さんが6月のホンジュラス同行者の勧誘をしていました。同行したい方は早めの申込みを!!（参加者29名、荻田記）

* 緑の地球ネットワークのHP : <http://homepage3.nifty.com/gentree/>

■今月の幹事会

2006年1月10日

- 1 札幌市公園管理不採用
残念。不採用通知が届きました。
- 2 澄川都市環境緑地拡張
2、3ページ記事参照
- 3 平成17年度北の国・森林づくり技術交流発表会対応
1月26日(木)北海道森林管理局大会議室にて、発表時間14時30分～14時45分
- 4 平成18年度「緑化関連公募事業」要望提出
12日に提出
- 5 ホンデュラス対応
ページ記事のとおり
- 6 会歌、第一号「幾星霜」、愛唱歌として今後とも新作を歓迎します。その内から自然に会歌として認定されるようになるでしょう。
幾星霜 4ページに掲載
- 7 リンゴ園作業3月計画
10日以降、2回/週、剪定枝処理支援。4月は伐倒作業を予定。
- 8 巣箱製作と清掃かけかえ
有明、澄川、神宮
- 9 2月セミナー
エゾモモンガの話 新田啓子さん(4ページのお報せ、開始時間9:30)
- 10、木工最初日、煙突改修工事にご協力ください。

■おしらせ

◆澄川拡張され面積ほぼ倍増(市役所みどりの管理課訪問)

1月6日、酒井、高野、加治、3名でみどりの管理課の高橋活用促進主査と鈴木森林活用係長に面会し、年始の挨拶かたがた平成17年の活動経過を口頭で報告しました。その中で特に有明第二の地拵え植栽作業が重労働であったことと、苗木代は会員の負担と募金により賄われたことを、ホームペ

ージ募金使用報告のコピーを提示しながら強調して置きました。更に、この事を一般市民に広報するよう申し置きました。



ピンク囲いが拡張部分

続けて、予ねてよりの情報通り、澄川都市環境緑地の17年度取得分が公表され、その図面を頂き説明を受けました。追加面積は11.62haで施業終了済みの前回・前々回合わせた面積13.28haに近い広さです。

一方、有明第二の造林継続作業及びトドマツ間伐については目下検討中につき、具体的方針を決めてから、澄川、有明、西野の作業計画書を3月中旬(市の希望)までに提出することで面談を終えました。

会員の皆さん、上記3環境緑地での活動に関する希望及びご意見をお寄せ下さい。(加治・記)

◆ホンデュラス植林同行者募集◆

先頃、千葉市立若松小学校5年生の皆さんよりホンデュラス向けに30,941円の募金をいただきました。昨年度よりのプロジェクト形成に向けての動きが、カウンターパートとの連絡不通により暗礁に乗り上げている現状で、子どもたちの意志と行動にどう応えるべきか考えました。その結果、我々も我々自ら動くことを決め、酒井がホンデュラスに渡ることになりました。この渡航に同行する会員を募集します。

現在、原住民の子どもたちと日本の子どもたちとの交流の架け橋となるべく、現地の新規カウンターパートのドーラ・バルデピエソさんと活動内容について協議中です。主目的の植林以外にも魅力あるメニューを考えていますが、光っている子どもたちの目を見るだけでも一生の思い出になります。

【期間】2006年6月 約10日間

【費用】航空運賃他17万円 宿泊その他8万円 合計約25万円実費

【活動内容(案)】

- ・インテブカ県エスペランサの原住民レンカ族少年サッカークラブ訪問・植林(このクラブに入会すると植林が義務づけられています)
- ・イグアナのリハビリセンター訪問
- ・国立森林科学大学の種子銀行見学
- ・カリブ海の湿潤熱帯林や高地雲霧林の森林破壊状況見学
- ・若松小学校訪問・報告



★木の里親募金のお願い★

再度で大変恐縮ですが、木の里親募金にご協力をお願いいたします。募金いただいたお金はホンデュラス植林ツアーでの苗木代、スコップ購入、子供達へのノートと鉛筆セット代、苗木運搬用レンタカー代金などにあてます。

平成 17 年度

北の国 森林づくり技術交流発表会

1月 26 日 (木)PM2 時 30~45 分

北海道森林管理局 大会議室

当会对応者、酒井、高野(豊)、西野(悌)

2 月セミナー

2 月 17 日(金) 9 時 30 分~12 時

リンケージプラザ第 3 研修室

「エゾモモンガの生態と生息環境」

講師：新田啓子

◆愛唱歌「幾星霜」

会歌を作ろうという声が出て、作詞：柴田久子、作曲：高野 豊で「幾星霜」という歌ができました。第 1 号愛唱歌として認定されました。2 号、3 号と増えることを期待します。



■活動履歴

活動日	場所	参加人数	活動内容
1/17	リンケージプラザ	29	戦時中国における植樹秘話(松村清松氏)
1/13	リンケージプラザ	11	デジカメと画像処理(西野悌三氏)
1/1	北海道神宮、円山	15	初詣・冬芽観察会

■ひとこま

これなあに？

生き物に優しい河川護岸工法として伝統工法が見直され始めました。粗朶工法の応用です。生々しいヤナギの萌芽と幹の柱とで直径 2 ㍍の半円型の柵(しがらみ)を編むのです。その中に玉石を詰めて、川岸に埋め込みまして、流速を緩和し護岸するのですが、ヤナギの芽ばえによる緑化と石の隙間での水生生物達の生息をも期待するのです。

頼まれ仕事として、特別チームが作っています。雪解けを待ちまして真駒内川で施工されます。結果を継続観察したい仕事です。

